



新型コロナウイルスへの対応

～第28回地域医療構想に関するワーキンググループ～



雲南市病院事業管理者 大谷 順

1. 病院の外部環境

地域の位置付け

2. 収容した病床の確保

病棟の運用方法

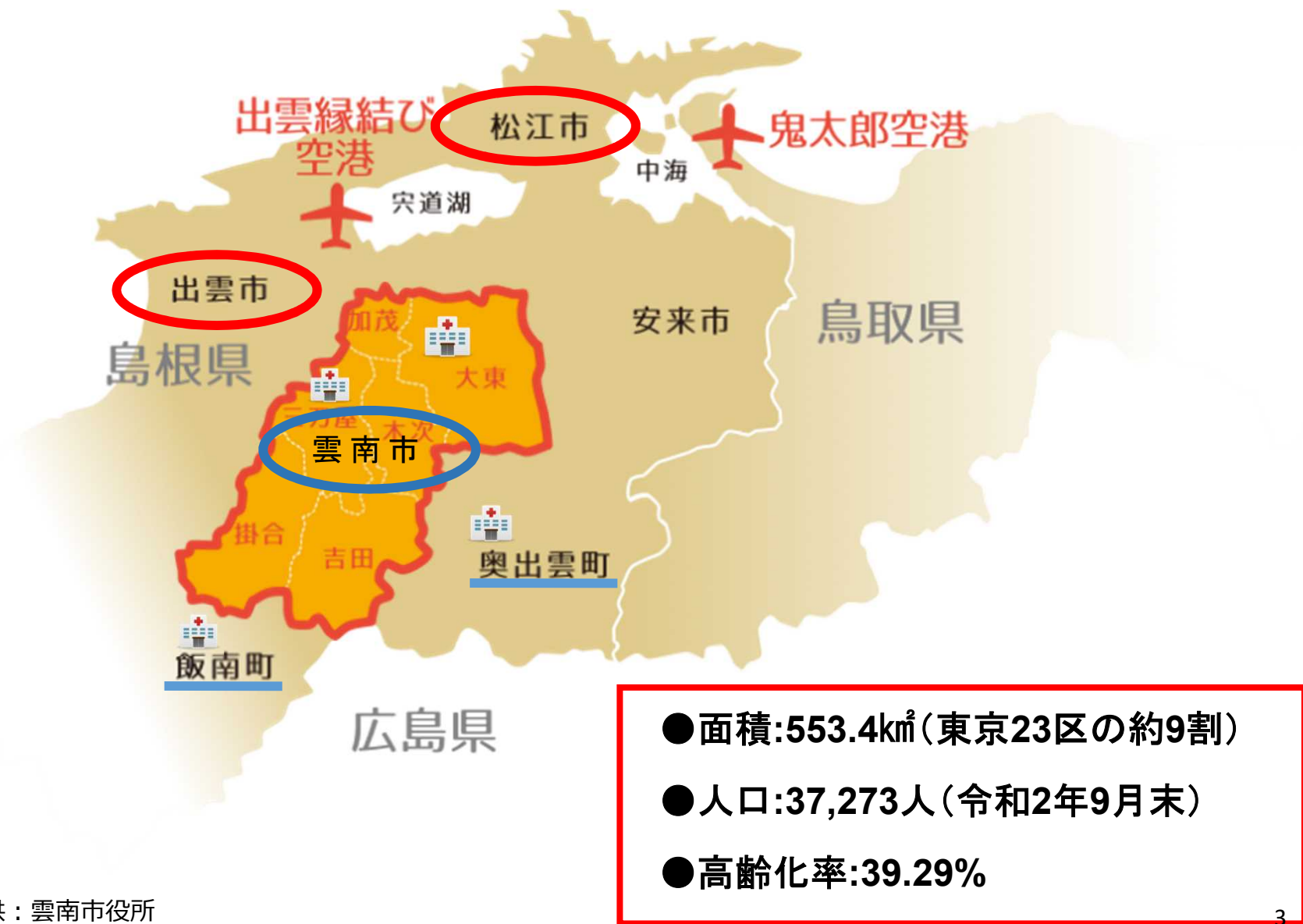
3. 導線・ゾーニング

どのように運営したか

4. 人員の確保

どのようにコロナ病棟のスタッフを決めたか

島根県雲南市



資料提供：雲南市役所

概 要

病床数（算定区分別）

| | |
|-----------------|---------|
| ・一般病棟（急性期） | 1 5 5 床 |
| ・地域包括ケア病棟 | 4 8 床 |
| ・回復期リハビリテーション病棟 | 3 0 床 |
| ・医療療養病棟 | 4 8 床 |

合計 281床

※感染症病床：4床

診療科

内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻咽喉科

眼科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・精神科・リハビリテーション科・歯科口腔外科

合計 15科

※赤字：非常勤体制

職員数（臨時・パート・嘱託職員含む）

| | |
|-------|-----------------------------------|
| ・常勤医師 | 2 7 名 |
| ・看護職員 | 2 0 2 名（看護師170・助産師11・准看護師15・保健師6） |
| ・その他 | 1 7 7 名 |

合計 406名

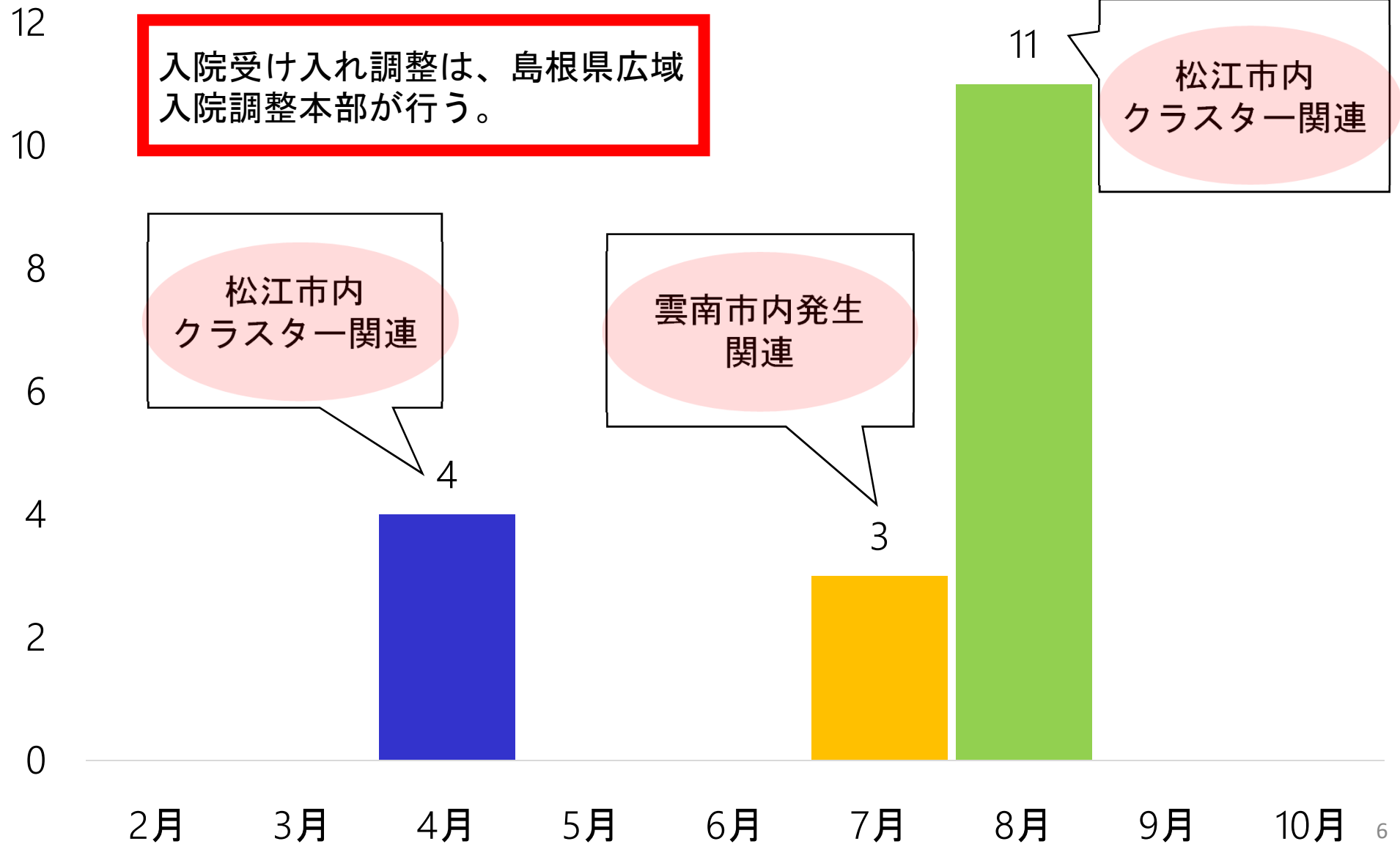
表1-3-1

医師偏在指標

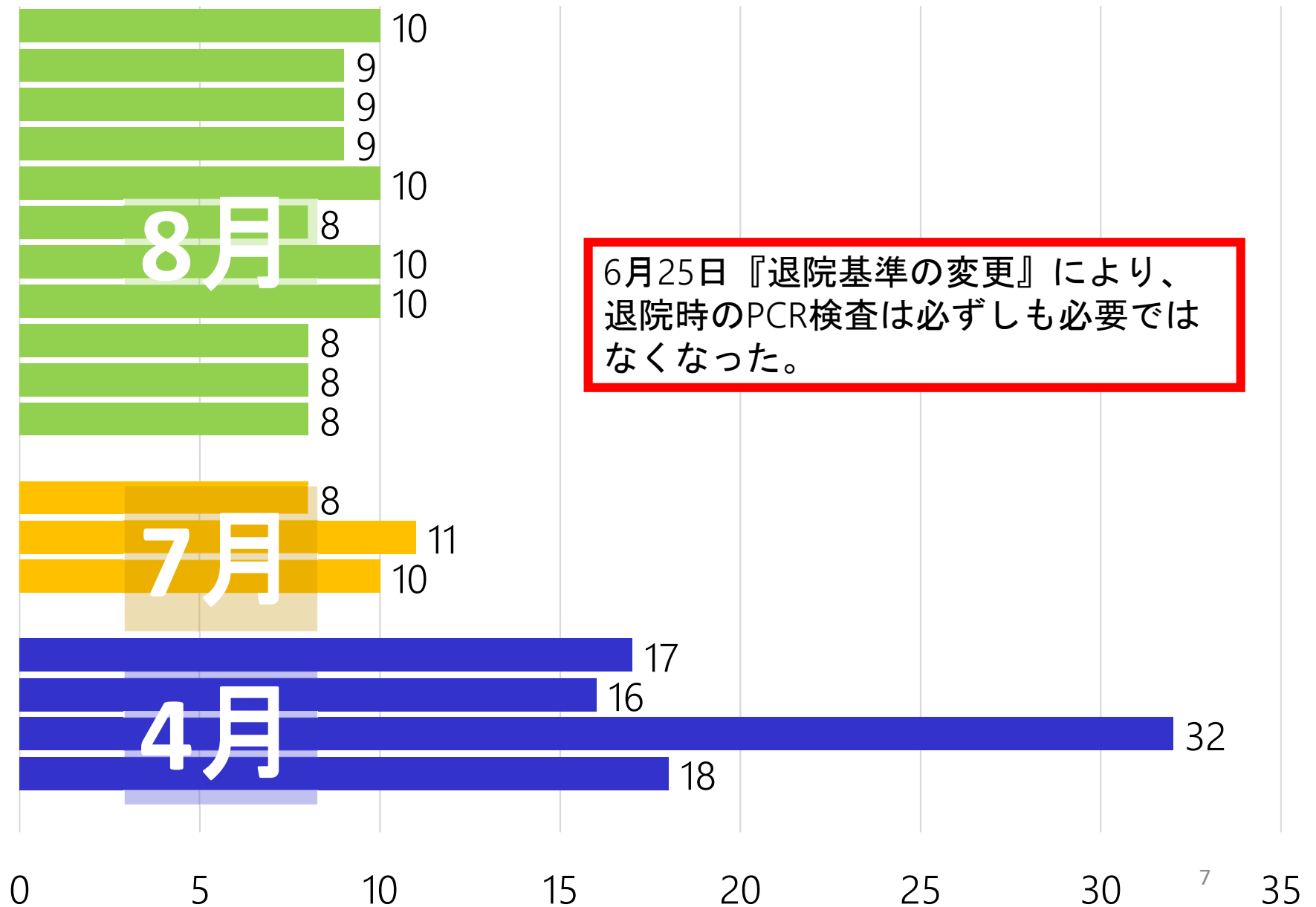
| 圏域名 | 医師偏在指標 | 順位 | 分類 | 医師実数 (人) | 標準化医師数 (人) | 人口 (10万人) | |
|-------|--------|-------|-----|-------------------------|-------------------------|-----------------------|------|
| | | | | 平成28(2016)年 12月31日時点 | 平成28(2016)年 12月31日時点 | 平成30(2018)年 1月1日時点 | |
| 全 国 | 239.8 | | | 304,759 | 306,269.7 | 1,277.07 | |
| 島 根 県 | 238.7 | 21 | | 1,879 | 1,876.7 | 6.91 | |
| 二次医療圏 | 松 江 | 222.8 | 80 | 多 数 | 612 | 599.6 | 2.43 |
| | 雲 南 | 112.5 | 333 | 少 数 | 77 | 74.2 | 0.57 |
| | 出 雲 | 381.4 | 6 | 多 数 | 767 | 796.4 | 1.75 |
| | 大 田 | 137.4 | 291 | 少 数 | 93 | 87.1 | 0.55 |
| | 浜 田 | 180.2 | 159 | | 168 | 160.2 | 0.79 |
| | 益 田 | 158.5 | 235 | 少 数 | 133 | 129.5 | 0.61 |
| | 隠 岐 | 143.1 | 281 | 少 数 | 29 | 29.6 | 0.20 |

出典：島根県医師確保計画
(第3章医師確保計画の方針・施策の方向)

陽性者受け入れ数(人)



陽性者の在院日数(日)



地域包括ケア病棟48床
平均稼働率90%





病室

4床室を2床室として使用

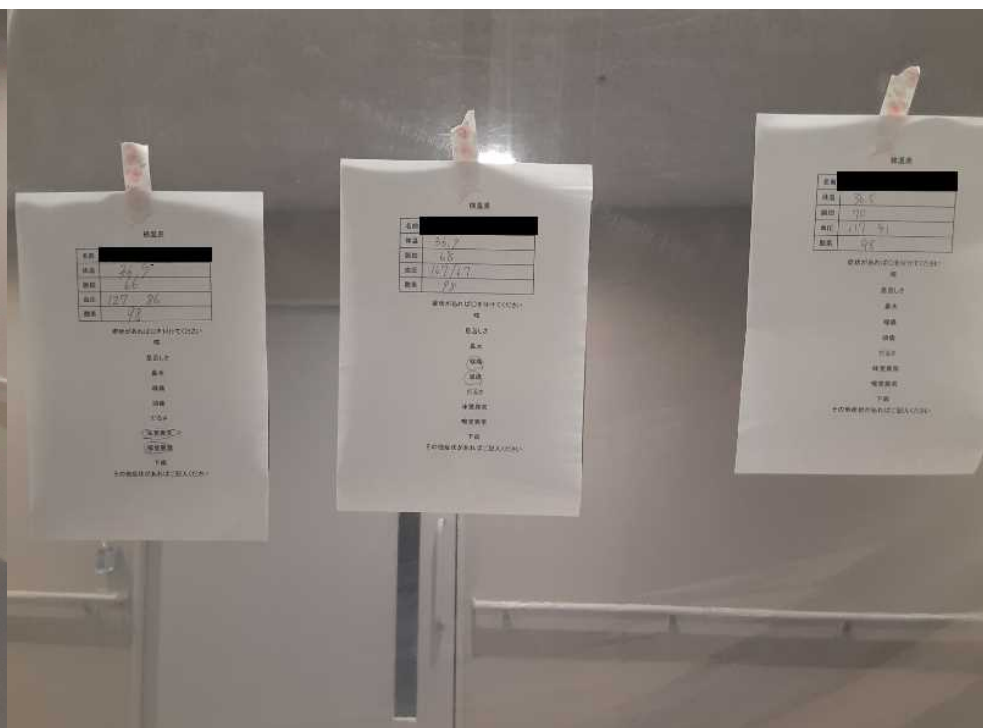
ビニールシートで清潔区域を拡大 (7月の病棟編成時より)



診察コーナー (ビニールシート越しの対面)



セルフ バイタルチェックコーナー



記録用紙に記載したものを透明カーテンの向こう側から貼ってもらっていた。

病棟における ゾーニング (7月8月)

汚染区域

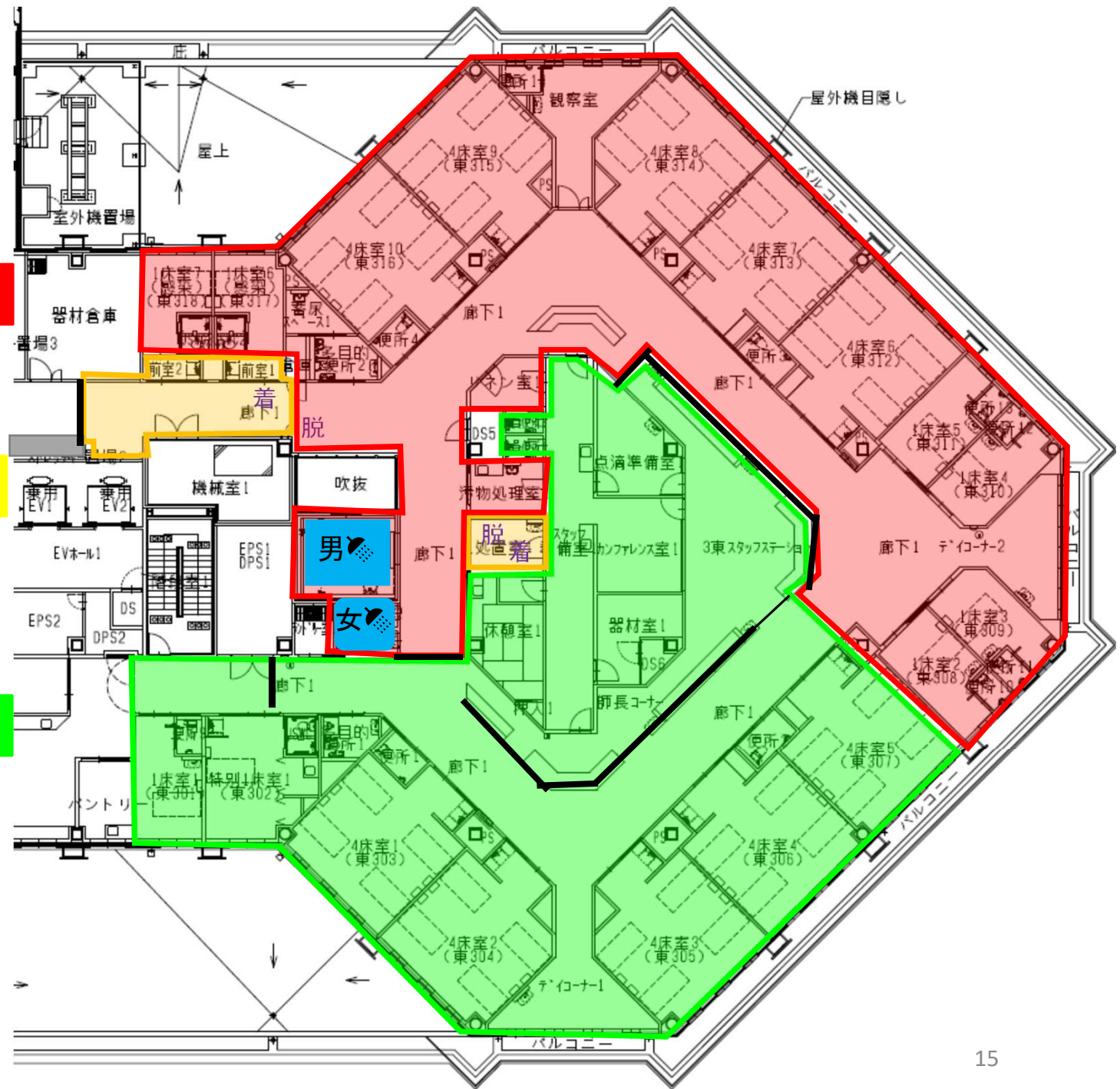
PPEを着るべき場所
(患者ゾーン)

準汚染区域

PPEを着るべき場所
汚染PPEを脱ぐ場所
(患者は入らない)

清潔区域

PPEを着けては
いけない場所



専用病棟の人員確保について

4月以前

看護師 20名

看護助手 8名



4月以降

看護師 14名

- ・ 軽症患者中心のケア
- ・ 夜勤は不測事態を想定し2名体制
- ・ 夜勤回数7回/月→必要数14名

人選方法

手挙げ → 高リスク者除外で絞り込み